



神戸市外国語大学

追加説明資料



神戸市外国語大学

Contents

1. 市内就職
2. 教職課程・教員就職
3. 入試広報
4. 地域貢献活動
5. 留学生
6. 運営費交付金
7. 経済波及効果
8. 神戸高専との同一法人化

【第4期中期計画】

市内企業・団体による学内会社説明会

60件／年 → 2025年度 64件（達成）

インターンシップフェア 16件
学内合同企業説明会（次ページ）48件

1. 市内就職

促進に向けた取り組み例①

● インターンシップフェア ※市内企業を無料招待

（2025年度実績）

- ・ 時期：6月～7月の5日間
- ・ 場所：三木記念会館（ブース形式）
または、オンライン（Zoom）
- ・ 参加学生数：357人
- ・ 参加企業数：全体42社（うち市内企業16社）
- ・ 企業参加費：市外企業／10,000円、市内企業／無料
- ・ 市内参加企業（50音順）：
（株）アシックス、石光商事（株）、（株）上組、（株）合食、
神戸市、（株）神戸製鋼所、コベルコシステム（株）、
（株）さくらケーシーエス、神栄（株）、TOA（株）、
富永貿易（株）、（株）トモエシステム、バンドー化学（株）、
（株）ファミリア、三ツ星ベルト（株）、UCC上島珈琲（株）





1. 市内就職 促進に向けた取り組み例②

● 学内合同企業説明会 ※市内企業を無料招待

(2025年度実績)

- ・ 時期：〈4年生向け〉5月、9月 〈3年生向け〉10月、11月、12月、2月
- ・ 場所：三木記念会館等（ブース形式）または、オンライン（Zoom）
- ・ 参加学生数：692人
- ・ 参加企業数：全体172社（うち市内企業48社） ・ 企業参加費：市外企業／10,000円、市内企業／無料
- ・ 市内参加企業（50音順）：(株)アシックス、石原ケミカル(株)、石光商事(株)、(株)大月真珠、カネテツデリカフーズ(株)、(株)上組、(株)加美乃素本舗、川西倉庫(株)、近畿工業(株)、小泉製麻(株)、(株)合食、神戸エアポートアビエーションサービス(株)、神戸市、神戸商工会議所、(株)神戸新聞社、(株)神戸製鋼所、コベルコシステム(株)、(株)神戸ポートピアホテル、(株)さくらケーシーエス、(株)サンエース、(株)シマブンコーポレーション、神栄(株)、神姫バス(株)、神港精機(株)、セムコ(株)、(株)TASAKI、(株)千代田精機、(株)デンソーテン、TOA(株)、トーカロ(株)、富永貿易(株)、(株)トモエシステム、トレーディア(株)、(株)ニチリン、白鶴酒造(株)、バンドー化学(株)、藤岡金属(株)、兵神装備(株)、ペタビット(株)、(株)ミックウェア、三ツ星ベルト(株)、六甲バター(株)、(株)ロック・フィールド、UCC上島珈琲(株)

【第4期中期計画】

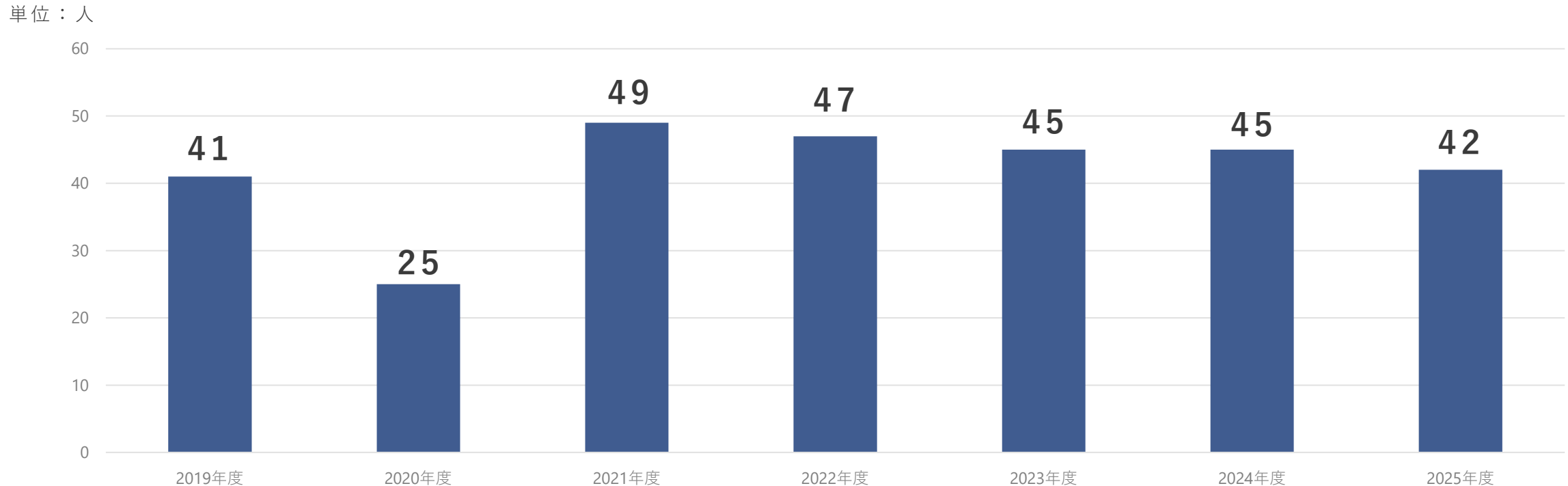
神戸市教員試験における一般合格率を上回る

一般合格率 30.9% → 外大生 90.9%※（達成）

※神戸市以外も含む外大生の教員試験合格率

2. 教職課程・教員就職 これまでの実績①

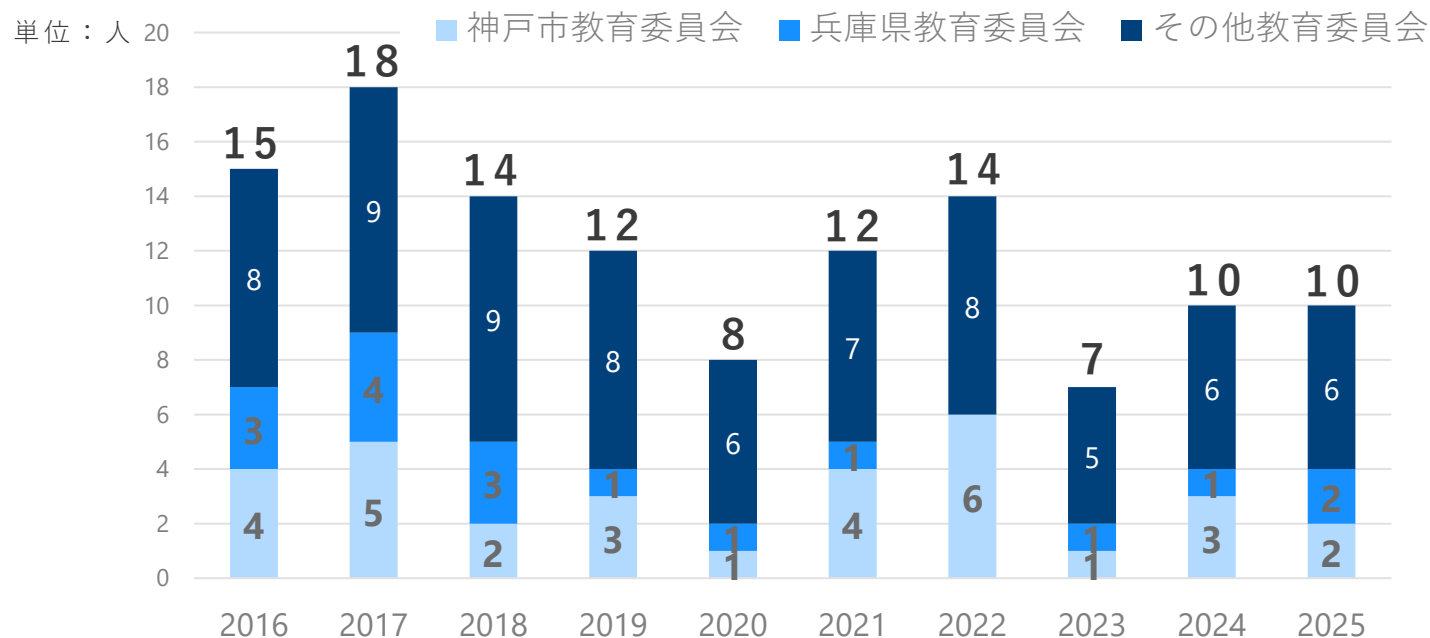
● 毎年40名程度が教員免許を取得（教職課程を修了）



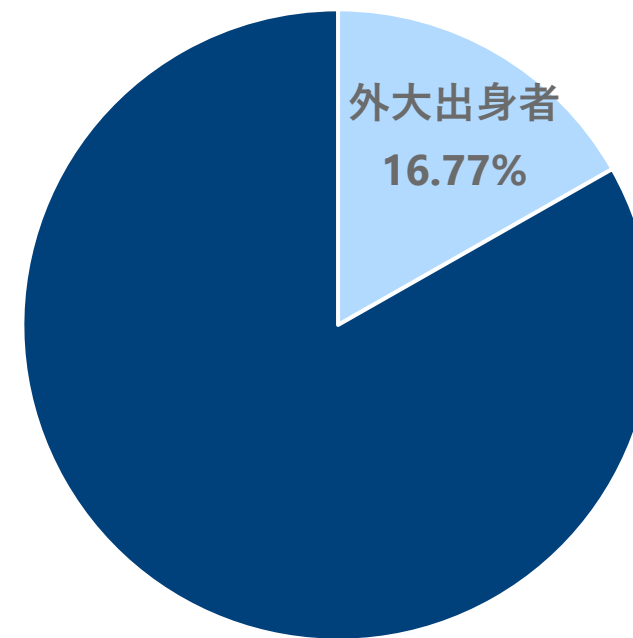
2. 教職課程・教員就職 これまでの実績②

- 年平均 5 名が県・市教委に就職、市英語教員の 6 人に 1 人が外大出身
(80人/477人)

教員就職者の推移（正規・臨時教員）



市英語教員に占める割合



【第4期中期計画】

市内高校での模擬授業の件数

5件／年 → 2025年度 6件（達成）

市内高校への入試に関する訪問件数

25件／年 → 2025年度 26件（達成）

3. 入試広報 市内高校への働きかけ

● 模擬授業、進路指導員への説明

（2025年度実績）

- ・ 市内高校へ模擬授業実施にかかる個別アプローチを行い、教員訪問型の模擬授業を実施（6件）
神戸学園都市高校、須磨友が丘高校、滝川高校、
滝川第二高校、夢野台高校、六甲アイランド高校
- ・ 受験生データ等の分析結果に基づき、市内の高校訪問を実施（26件）
北須磨高校、神戸国際高校、神戸鈴蘭台高校、
神戸野田高校、神戸龍谷高校、親和女子高校、
須磨翔風高校、須磨友が丘高校、須磨東高校、
滝川第二高校、長田高校、葺合高校、兵庫高校、
夢野台高校、六甲アイランド高校 など



4. 地域貢献活動

学生ボランティアの取り組み例①

● 神戸市の通訳・翻訳ボランティアへの学生派遣

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0人※	15人	36人	107人	123人

※2021年度はコロナ禍のため学生派遣なし

（2025年度実績）

- ・ 大阪・関西万博 41人
- ・ クルーズ客船寄港にあわせた観光案内 35人
- ・ 西区地域イベント(なでしこの盆) 17人
- ・ インバウンドガイド 12人
- ・ 神戸マラソン 11人
- ・ KOBEインターナショナルフェスタ 7人



4. 地域貢献活動

学生ボランティアの取り組み例①

● 神戸市の通訳・翻訳ボランティアへの学生派遣（続き）

（2025年度実績）

- ・ 大阪・関西万博

各パビリオンでの案内のほか、
高専の最新技術を外大生が説明



- ・ クルーズ乗船客観光案内

ボランティアの9割以上が外大生
(英・中・露・西の各言語で対応)



- ・ インバウンドガイド

(一財)神戸観光局と連携し、
外大生独自プログラムを開発





4. 地域貢献活動

【参考】神戸国際コミュニティセンター（KICC）との連携

● 連携協定に基づく日本語学習サポートの実施

- ・ KICCの初級日本語教室を修了した外国人を主な対象とする、日本語を話す実践の場である「日本語でおしゃべり」について、神戸市外国語大学が企画する特別プログラムを実施（2026年度中に2回開催予定）
- ・ 本学教員のファシリテートのもと、学生が「日本語での交流機会」を提供（次年度以降は開催件数を増やすなど、取り組みの発展・継続を目指す）

● スペイン祭、KOBEインターナショナルフェスタ

- ・ 神戸日西協会主催のスペイン祭を、2026年度はKICCと本学を加えた3者で共催
- ・ 神戸の小中高で働くALT(外国語指導助手)がゲームなどを通じて母国を英語で紹介するイベント「KOBEインターナショナルフェスタ」に、本学学生をボランティアとして派遣予定



● KICC・JICA連携講座への参画、JICAとの連携

- ・ KICCがJICAと共催する連携講座へ、国際協力・国際機関に関心を持つ本学学生の参加を促進。また、JICAと本学間の連携による新たな取組についても協議



4. 地域貢献活動

学生ボランティアの取り組み例②

● こどもの英語教育への貢献

（2025年度実績（学生数：59人、園児・児童数：延べ約120人））

・英語でなかよし（児童英語教育）

・外大生といっしょ（幼児英語教育）



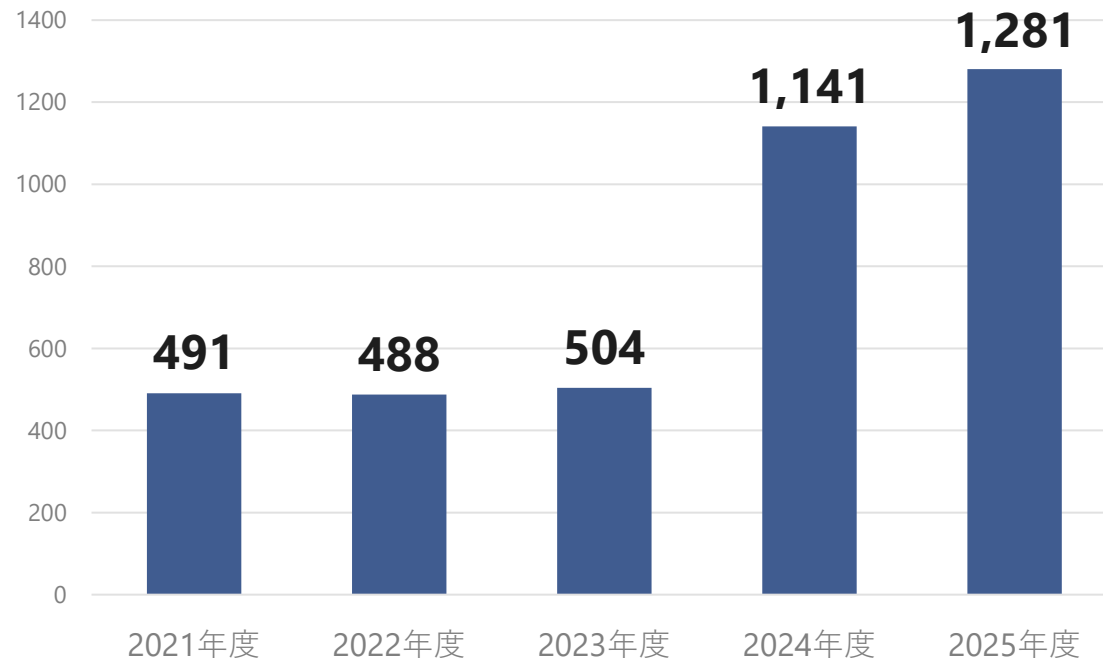
【第4期中期計画】

外大サテライトを利用した語学講座の件数

31件／年 → 2025年度 前期37件・後期35件（達成）

4. 地域貢献活動 語学講座の運営

● 外大サテライト(旧UNITY)での運営実績（人）



※ 2023年度以前はUNITY（神戸研究学園都市大学交流推進協議会）
2024年度以降は外大サテライトとしての実施

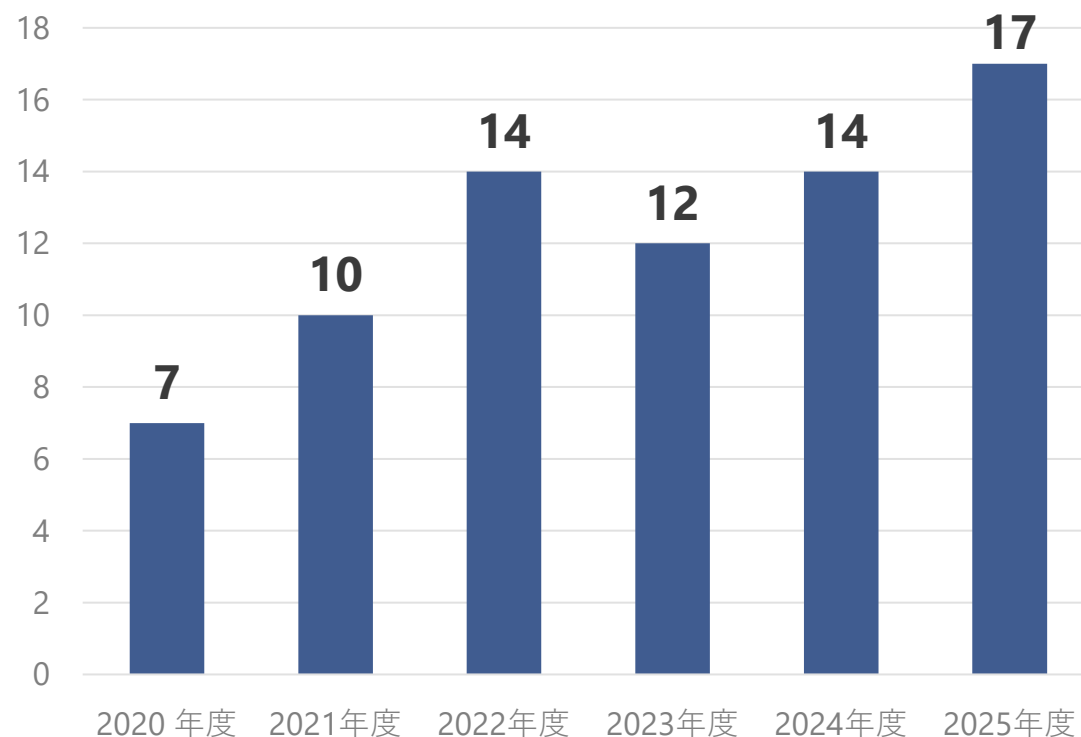




4. 地域貢献活動

公開講座・講演会の開催

● 一般市民向けの公開講座等の開催件数（件）



（2025年度の公開講座の一例）

- ・ きたむらさとし客員教授特別授業「創作の時間7」
- ・ 漢語的語意結構和語法形式
「中国語の意味構造と文法形式」
- ・ 呪文に託す願い-ルーマニアとロシアの現場から
- ・ 言葉で珈琲を味わう
- ・ 黒海地域における地政学的・安全保障的文脈
—The Geopolitical and Security Context in the Black Sea Region—
- ・ グローバル時代におけるリーダーシップとは？
- ・ The United Nations at 80: Challenges and Change
- ・ 紛争地域における人命救助の最前線-ガザの真実を知る

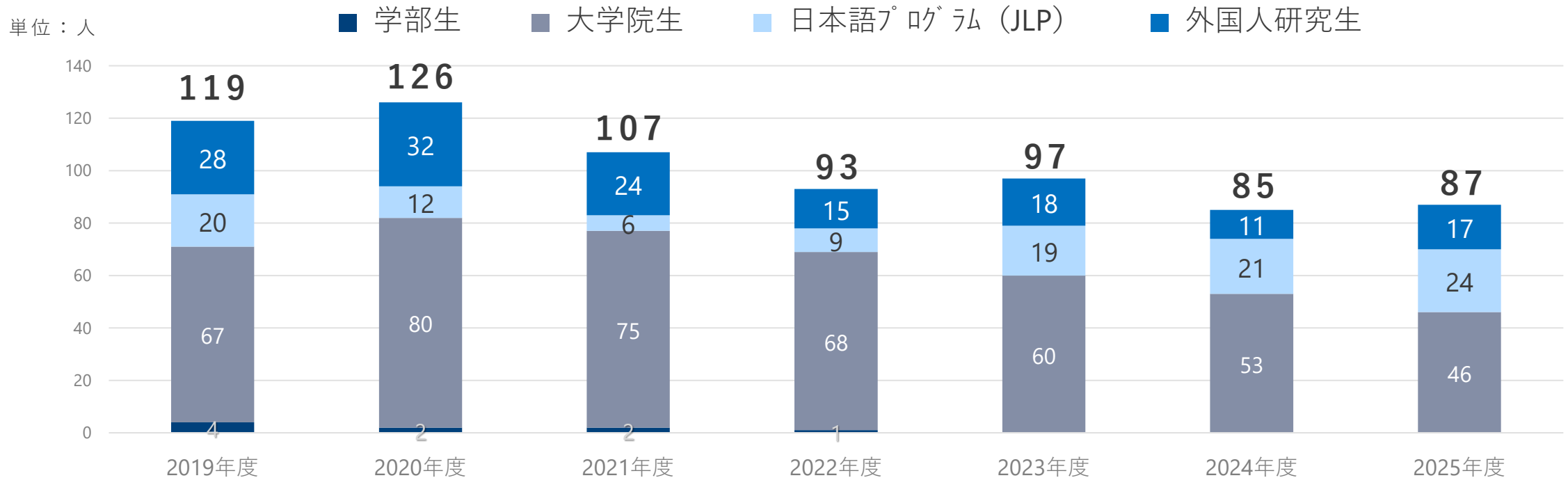
【第4期中期計画】
外国人留学生数
100人／年

→ 2025年度 87人（未達）

5. 留学生

これまでの実績

● 毎年100人程度を受け入れ ※留学ビザ保持者





6. 運営費交付金

地方交付税の基準財政需要額への算入※

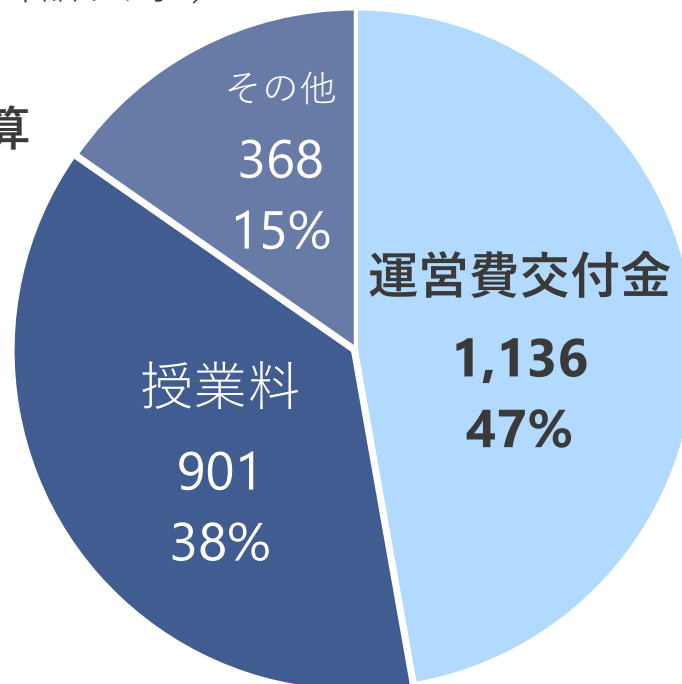
(地方交付税 (国 (総務省) → 神戸市) = 基準財政需要額 - 基準財政収入額)

● 運営費交付金約11億円に対し、基準財政需要額も約11億円

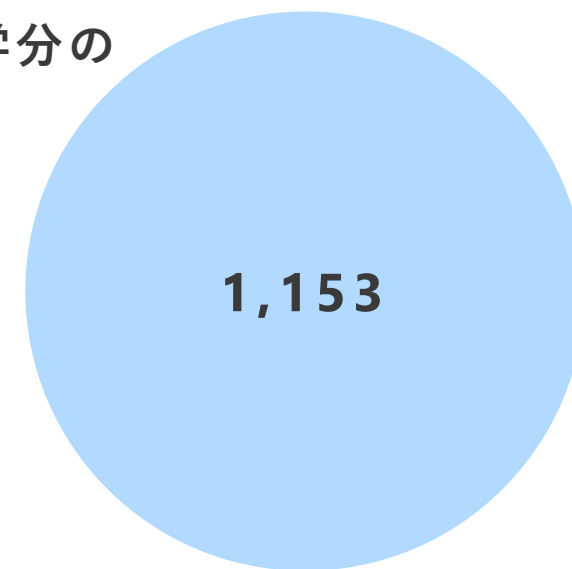
(神戸市→神戸市外国語大学)

(神戸市外国語大学の設置により算入される額)

2024年度
神戸市外国語大学決算
(単位：百万円)



2024年度
神戸市外国語大学分の
基準財政需要額
(単位：百万円)



※ 地方交付税は一般財源で（運営費交付金の特定財源ではなく）、基準財政需要額は地方交付税額算出に向けた理論値であることに留意



7. 経済波及効果

神戸市「市内立地大学等が神戸に及ぼす経済波及効果分析報告書（2023年）」からの簡易推計

● 神戸市外国語大学が神戸に及ぼす経済波及効果は約48億円/年

（1）直接効果 3,055百万円（①＋②＋③＋④）

- ① 教育・研究活動 766百万円（教育研究費500百万円※¹＋管理費266百万円※¹）
- ② 教職員による消費 675百万円（人件費1,665百万円※¹×市内在住率58.0%※²×消費性向0.699※²）
- ③ 学生による消費 1,464百万円（学生数2,200人×市内在住率65%※³×自宅・下宿率※³×消費単価※²）
- ④ 施設整備等 150百万円（第3期中期計画予算877百万円÷6年）

（2）間接効果 1,729百万円（直接効果 3,055百万円×間接効果比率56.6%※²）

※1 神戸市外国語大学「2020年度財務諸表」＝神戸市報告書の調査年度（2020年度）

※2 神戸市「市内立地大学等が神戸に及ぼす経済波及効果分析報告書」の比率・単価等を準用

※3 神戸市外国語大学の市内在住率および自宅・下宿率（2025年度）で積算（[詳細次ページ](#)）

7. 経済波及効果

【参考】地域別入学者割合（2025年度）

● 全国各地から多様な学生を獲得

- ・神戸市内枠を設けて一定数の市内出身者を確保しつつ、全国各地から優秀な人材を集積させることで、多様な背景を持つ学生がともに学び、切磋琢磨する文化を形成

（市内居住率）

市内全大学 **45.3%**（2023年経済波及効果分析報告書）

→神戸市外国語大学 **64.6%**（2025年度）

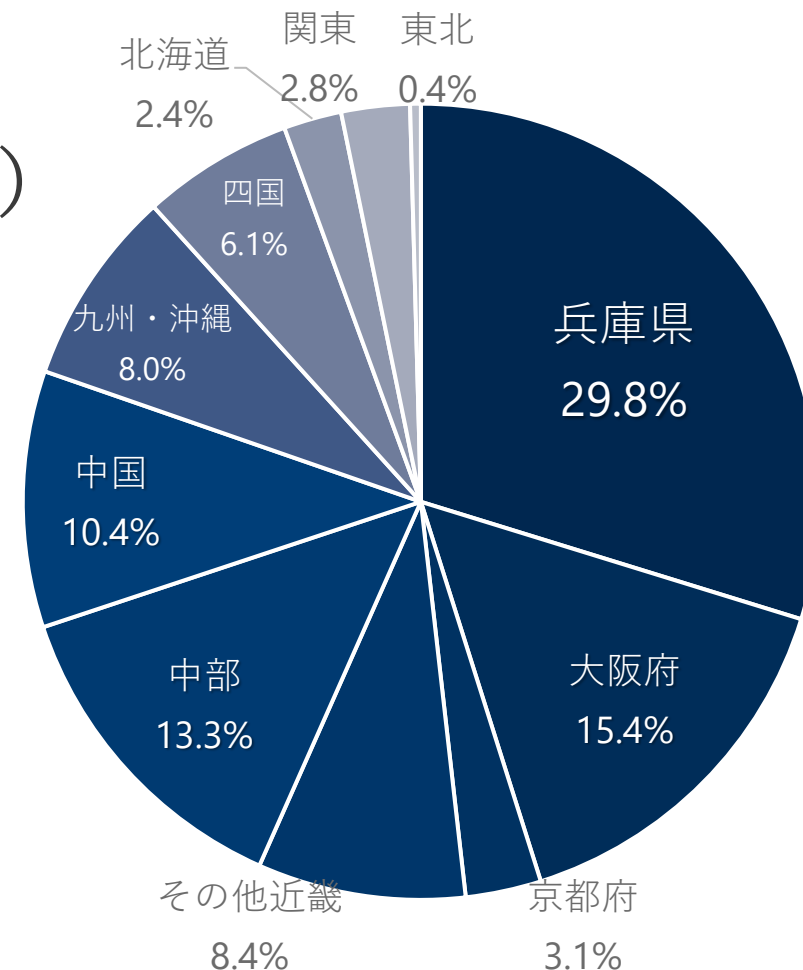
（市内居住者の下宿率）

市内全大学 **62.8%**（2023年経済波及効果分析報告書）

→神戸市外国語大学 **79.3%**（2025年度）

⇒**下宿生による経済波及効果は約21億円/年**（16ページ 約48億円/年の内数）

（学生 2,200人 × 市内居住率65% × 下宿率79% × 神戸市報告書の消費単価 1,169千円 = 1,317百万円（直接効果） × 1.566（間接効果倍率） = 2,063百万円）





神戸高専 ×



Kobe City University of Foreign Studies
神戸市外国語大学

8. 神戸高専との同一法人化

2023年4月の同一法人化による取り組み①

（外大の強みを生かした高専への「グローバル人材育成」分野）

- ・ 外大教員が高専生向けに作成したTOEIC対策セミナー（動画）のオンデマンド配信
- ・ 外大教員の監修のもと外大卒のプロ通訳者が技術者に求められる英語スキルを伝えるキャリア教育セミナーの開催
- ・ 海外留学を検討する高専生に外大生が留学経験を伝える交流事業 など

（TOEIC対策セミナー）

（高専の強みを生かした外大への「情報教育」分野）

- ・ 外大の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの授業で、高専生が授業運営をサポート など





神戸高専 ×



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

8. 神戸高専との同一法人化

2023年4月の同一法人化による取り組み②

(授業の相互開放)

- ・ 外大から高専へは語学や海外文化を学べる分野等の13科目を、
高専から外大へは情報教育分野を含む19科目を開放

外大：英語研究入門、兼修イスパニア語、
兼修ロシア語、西洋哲学史、哲学概論 など
高専：化学工学、確率・統計、自然科学特殊講義、
画像処理、防災工学、環境生態、数理工学、
機械制御、コンピューターグラフィックス など

(外大 × 高専「合同研究発表会」)

(教員の共同研究)

- ・ 外大と高専教員の共同研究により、AIに関する
研究論文を発表
- ・ 4言語（英/露/中/西）で対応可能な言語学習支援の
「ロボットAI」を共同開発（2026年11月公開予定）

